

6 達磨山 だるまやま

天城峠から西に向かって城山方面は伊豆山麓標本道である。伊豆山麓標本道の西の端にあるのが達磨山である。伊豆では三ヶ所ある一等三角点の一つがあり、その標高の良から十三国峠とも呼ばれている。

十三国とは別(現在の千騎標南)・相模(神奈川)・武蔵(埼玉)・甲斐(山梨)・信濃(長野)・伊豆(静岡)・駿河(静岡)・三河(愛知)・美濃(岐阜)・伊勢(三重)・尾張(愛知)・伊予(愛媛)である。一等三角点の後の二つは万三郎岳(1,405.3m)と南伊豆町と松前町の間にある暗沢山(505.0.3m)である。

達磨山の名の由来は、静岡県中部の田代・清水方面から東へ、一丁度ダルマさんの姿に見えるという。また、滑りでも滑ることも、ササゲ(藪)の上にある山といふ説もある。このコース、戸田駅から、終始富士山を背にして歩くことになるので、結果的に船原峠から歩いてはじめておぼえた。

修善寺駅から松崎、または長八裏南尾けきのバスで28分、大曲茶屋で

コースタイム(徒歩) 所要時間: 約3時間40分

修善寺駅	バス	25分	大曲茶屋	バス	27分	修善寺駅
大曲茶屋	バス	40分	伊豆山麓	バス	40分	大曲茶屋
伊豆山麓	バス	50分	戸田	バス	40分	伊豆山麓
戸田	バス	45分	達磨山	バス	40分	戸田
達磨山	バス	45分	古備山	バス	40分	達磨山
古備山	バス	45分	船原峠	バス	40分	古備山
船原峠	バス	50分	土肥	バス	30分	船原峠
土肥	バス	50分	修善寺駅	バス	27分	土肥



下車、国道をそのまま進んで、旧道に入り、おまじろ湯先の船原峠へ。西天城峠駅の大釜な湯の下から湧けたお湯に湯煎をやる。2体の石仏を自ら、船木を渡り、一日スカイラインに出、再び船木林に入る。各入口には道標がしっかりあるので迷うことはない。この後、しばしスカイライン沿いの歩道を進む。西天城方面の山並と、肥後川が望める眺望地、北の船木の間から富士山も望める。

峠原の端から再びクマザサの歩道を下ると、左手のクマザサの中に三角点がある。スカイラインに出た所に達磨山の標識、山頂らしからぬ場所である。本来は三角点の所が御座山である。

スカイライン沿いに進むと、小土肥駐車場まで来た。この後クマザサの歩道に入り、開木の多い歩道を行くと古備山に出る。富士山が東側に姿を見せる所、近江、古備(703)を超えたハイカーがとどめゆる山として人気がある。

達磨山は目の前。緩やかなクマザサを登ると、一等三角点のある達磨山山頂。達磨山は達磨火山小峰山の

富士山の展望を楽しみながらクマザサの稜線を歩く

最高峰で天城山、箱根山、南アルプス、丹沢山、駿河峠と3600度の大展望を誇る頂上である。

達磨山は天城四岳の長男で、別名万太郎(番太郎)とも呼ばれている。後の三人は万二郎・万三郎・長九郎である。

富士山に向かってくる。左手に旗を掲げた大井は古田峠である。一日、スカイラインに出、再びクマザサを登る。アセビやイヌツゲの木が目立つ。春には達磨山の斜面はアセビの白い花とマメサクラのピンク色染まる。

